

令和四年一月十五日 信者心の道勉強会

神 示

「教え」を学び 社会の姿 向かう方向を 正しくつかむ信者であれ  
社会に生きる人は 何を信じ 心の支えにしているのか  
その時 その場の考え 思いに共感し

真理なき知識を頼って 自ら悩み 迷う

人が求める自由 平等も

「真理」が悟れて 生かさされる思想と気付くべし

人生の支え 「真理」が見えない今

神の手の中 時代の力が動いている

変化に心のみ込まれ

悔いる思いを 「心の道」に残すことがないように

神は使者を通して

「真実」の姿と あるべき「真理」を世に示す

信者は 「心の道」「心の基」に表される

神示「真理」を家族で学び

家庭の姿に「生かす」努力が必要

この思いを強く持つほど 信者の心は安定し 迷いは消えてゆく  
社会のあるべき真実は 運命が重なり 補い合って 回る姿にある

自然は 人々に寄り添い

住みやすい環境 豊かな恵み 潤いを与えるもの

人が造る社会は

自然環境に調和して いよいよ成果を生むと気付くべし